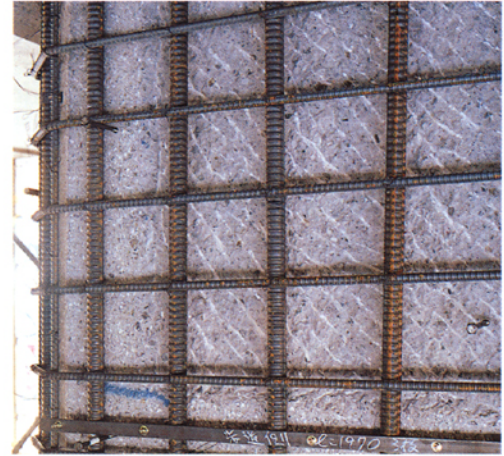


PP工法は、従来のRC巻立て工法では施工できない建築限界や、河川内の河積阻害が問題になる場所で真価が発揮できる画期的な耐震補強工法です。PP工法は、RCの補強理論に基づき、PSR工法の実験の上に、公開実験「PPマグネラインで補強した橋脚の正負交番載荷試験」によりその補強効果が確認された工法です。建設省のパイロット事業に採用され、厳しい条件下の補強工法として注目を集めています。

PP工法の特長

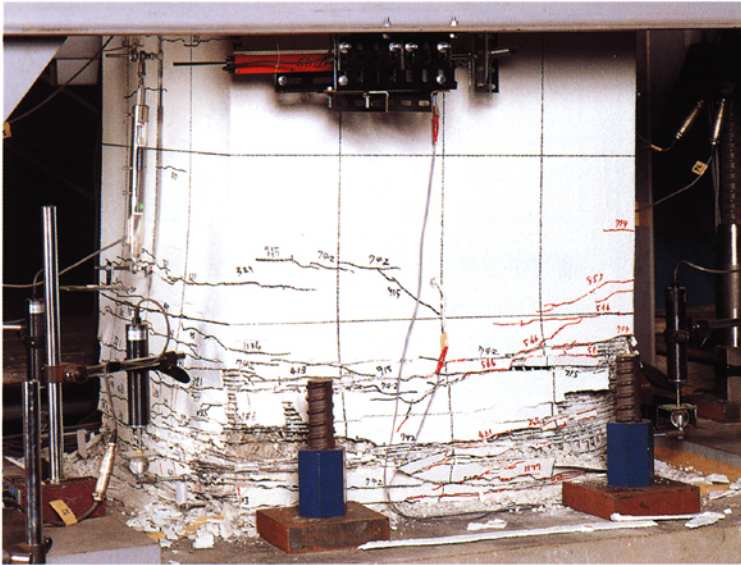
- ① 補強による増厚が薄くて済みます。建築限界や河積阻害が問題になった場合適用できます。
- ② 死荷重が軽減されるので基礎への影響が少なくて済みます。
- ③ 型枠作業が不要で、施工も簡単です。作業スペースが狭くても対応できます。
- ④ 補強と同時に防蝕効果による、延命ができます。
- ⑤ 仕上がりがきれい。
- ⑥ 補強後は目視点検ができます。
- ⑦ 変形ピアにも対応可能。

建設省関東地方建設局横浜国道工事事務所

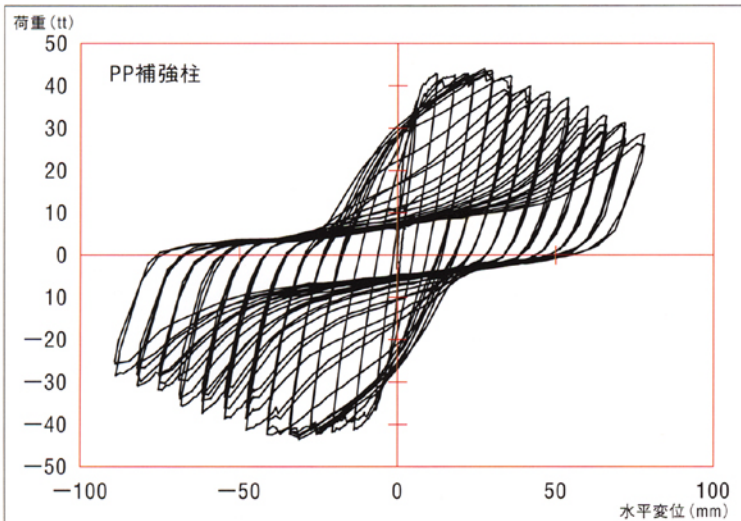


補強鉄筋取付け

正負交番載荷試験



マグネライン塗り込み



完成